

概要版



「知の結節点」 こおりやま 産業持続・発展 ビジョン ～課題解決力のある「e-経済県都」を目指して～ 2019～2025



本市産業の現状

○本市の産業の特徴

～高速交通網の拠点となるとともに学術・研究機関など「知」が集結～

1. 人・モノ・情報・知が集まる東日本のクロスポイント

東北新幹線や東北・磐越自動車道が縦横に交差する高速交通網の拠点。

2. 再生可能エネルギーの先進地へ

産業技術総合研究所福島再生可能エネルギー研究所など最先端の研究技術を活用し、新事業創出を推進。

3. 医療機器の開発・事業化支援

ふくしま医療機器開発支援センターを中心に、医療現場のニーズとものづくり企業のマッチングを推進。

4. 優れた産業集積(多数の工業団地等)

西部第一、西部第二、中央工業や流通業務など、それぞれの団地に特徴があり、関連施設などが集積。

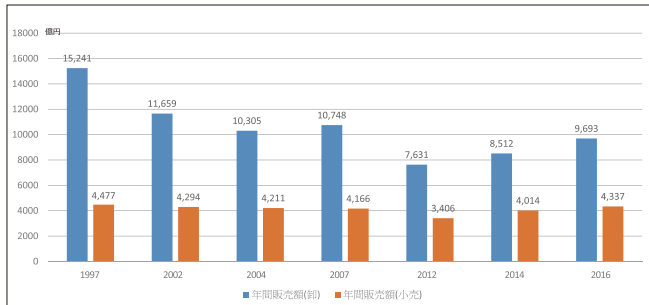
5. 産学官等連携の推進

本市及びこおりやま広域圏内の多くの大学・研究開発等の拠点によるネットワークを形成し、情報の共有・地域内の課題を解決。



産総研福島再生可能エネルギー研究所

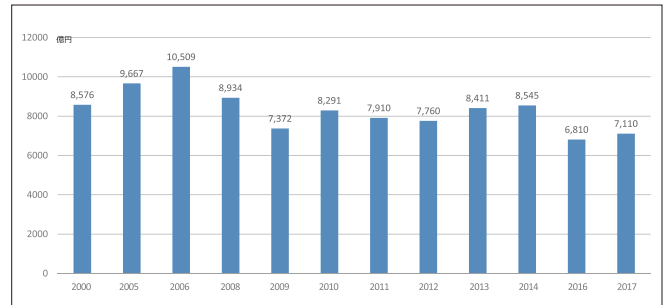
●卸売業・小売業の推移(年間商品販売額)



・東北2位、県内1位(2016年)

資料：商業統計調査、経済センサス

●製造業の推移(製造品出荷額)



・東北3位、県内2位(2017年)

資料：工業統計調査、経済センサス

ビジョン策定の目的

本市の産業は、少子高齢化に伴う人口減少や産業のボーダレス化、グローバル競争の激化、東日本大震災の影響など非常に厳しい状況に置かれています。

また、ICTの急速な発展・普及による第4次産業革命、Society5.0などの新しい時代に対応するとともに、SDGsやESG投資、さらには国際標準への対応(ガラパゴス化からの脱却)など新たな課題や時代の要請に応じた産業振興が急務です。

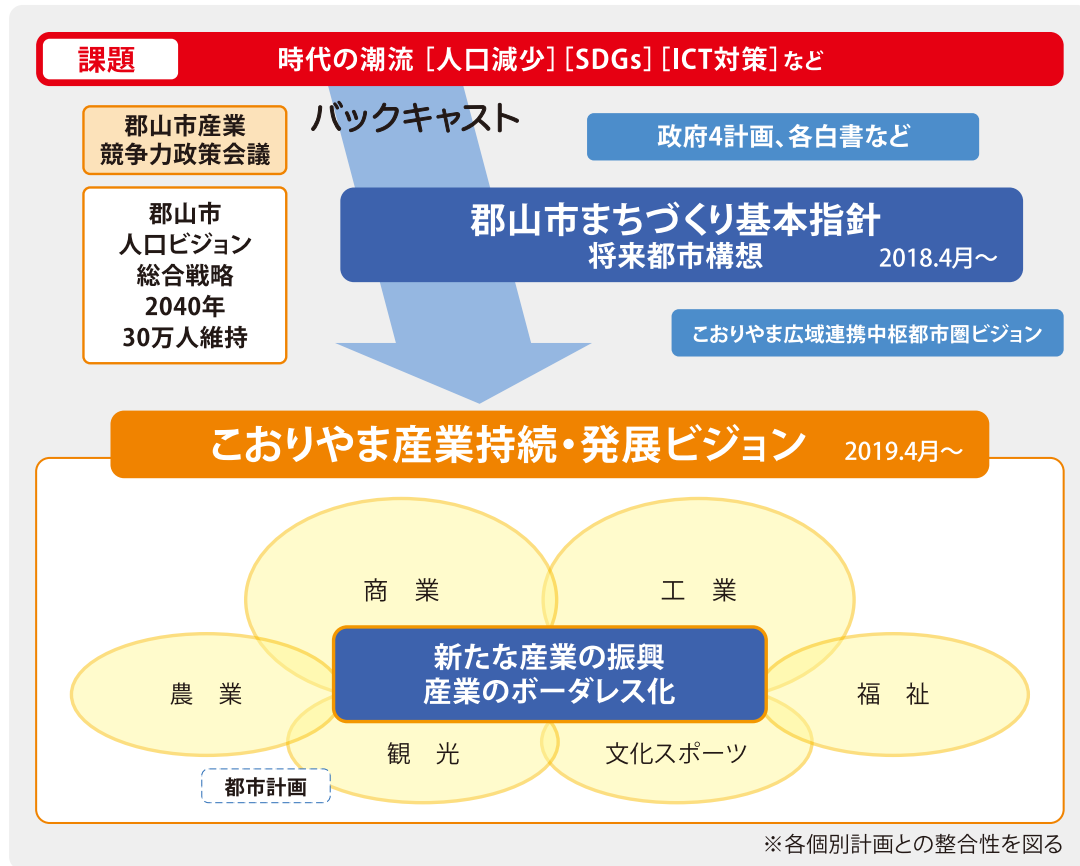
このビジョンは、これらの課題を解決し、本市の産業がより一層競争力を高め持続的に発展(Sustainable Development)していくために、本市産業振興の基本的な方向性を示すものです。



ビジョンの位置づけと計画期間

国の各計画・白書や、本市の最上位計画である「郡山市まちづくり基本指針」などとの整合性を図り、商業と工業の一体的な振興とともに、農業、観光・文化スポーツ産業、福祉産業などと連携しながら、本市産業全体の更なる発展を推進していくため、それぞれ策定していた「郡山市商業振興計画」、「郡山市工業振興計画」を統合し「こおりやま産業持続・発展ビジョン」としました。

計画期間は、2019年度～2025年度までの7年間とし、「郡山市まちづくり基本指針」(2018～2025)の計画期間の終期に合わせた期間としています。



本市産業の目指すもの（ビジョン）

○予見される課題

1. 全事業者がAI・RPA・IoTなどICTをフル活用する新産業時代の到来
2. 新たな産業ボーダレス社会に対応する環境の整備
3. 学術・研究機関と連携した産業の集積
4. とともに支え合う「こおりやま“産業”広域圏」による地域経済の振興
5. デジタルネイティブ、英語教育など新たな教育による次世代リーダーの登場
6. ワークライフバランスの取れた働きがいの醸成

○目指す未来（郡山市まちづくり基本指針より）

大綱 | 「産業・仕事の未来」(商業・工業・雇用・農林業分野)

- (1) みんなが誇れる「郡山といえばこれ!」という産業があるまち
【商工業振興・企業誘致・流通・起業支援】
- (2) 楽しくてやりがいのある満足できる仕事のあるまち
【雇用・就労環境】
- (3) 農林業が盛んで、市民の身近な産業となるまち
【農業振興・林業振興・6次産業化】

ビジョンの基本目標

本市産業に予見される6つの課題

“ふくしま”をけん引し、

全事業者がAI・RPA・IoTなどICTをフル活用する新産業時代の到来

新たな産業ボーダレス社会に対応する環境の整備

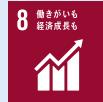
学術・研究機関と連携した産業の集積

バック

4つの「目指す」

Ⅰ. 地域商業の振興

～“e-経済県都”こおりやまの実現～



1. e-commerce時代のICT活用による販路開拓・経営力の向上

ICTをフル活用した情報発信やe-commerce、キャッシュレスへの対応などにより、新たな販路拡大やサービス提供プロセスの改善などの経営力向上に繋げる。

2. 地域資源を活かした産業の振興

人的・異業種間ネットワーク機能の充実や人材育成などコーディネート機能の強化により、地域資源の掘り起こしや磨き上げ、消費者ニーズの把握などを推進し、地域の特性を活かした産業の振興を図る。

3. 域内経済の循環による地域商業の維持

商業機能・コミュニティ機能など、地域と密接なかかわりを持つ商店街の機能を強化し、地域と共生し持続的発展を目指すため、魅力ある商店街づくりの推進と域内経済の循環に(お金の地産地消)による地域商業の維持を図る。

4. 商品力の向上と国内外の販路拡大

商談会・物産展への出展など消費者、流通関係業者等の連携や情報交換を行うことで市場ニーズを適切に把握し効果的な販路拡大を図るとともに、海外展開への支援機関などとの連携により海外とのネットワーク機能の強化を図る。

5. 時代の潮流に対応できる物流環境の整備・推進

経済のグローバル化に伴い、広域化・複雑化しているサプライチェーンネットワークや第4次産業革命時代へ対応するため、物流システムのICT化を推進し、流通業務施設の誘致など物流環境の整備を図る。

6. 産業振興による地域の活性化

高速交通網の要衝で、農・商・工がバランスよく発展し、中心市街地、近隣地域、周辺地域と地域ごとの独自性を持っているため、それぞれに特色ある人材や資源の掘り起こしなどを推進し、地域の活性化を図る。

Ⅱ. 新しい産業の創出

～第4次産業革命時代への対応～



ふくしま医療機器開発支援センター



1. 破壊的技術を活用した生産性革命・新産業創出

第4次産業革命時代を迎えた次世代の経済社会に対応するため、AI・RPA・IoTなど新たな技術活用を推進し、生産性革命の促進と新産業の創出を図る。

2. 新たな成長産業の育成・集積、核となる企業の誘致

再生可能エネルギーや医療機器、RPAなどに関連する新たな成長産業の育成・集積を目指し産業クラスターの形成を推進すべく、戦略的な企業誘致と工業団地の環境整備を図る。

3. 産学官連携と技術革新による産業の高度化・高付加価値化

郡山地域研究機関ネットワーク会議などのネットワークを活用した連携強化による共同研究や技術の共有などを促進し、異業種間連携と技術革新による産業の高度化・高付加価値化を図る。

4. 最先端研究機関との連携推進による関連産業の育成

本市及びこおりやま広域圏内の最先端研究機関や学術研究機関との産学官連携の推進により、関連産業の育成を図る。

5. 新たな資金の確保

新技術の開発、既存の技術力の強化を図るとともに、ESG投資などの対象となり得る魅力ある企業への成長を目指し、クラウドファンディングの活用など新たな資金の確保を推進する。

6. SDGsに定める産業と技術革新の基盤づくり

新たな成長産業育成や研究機関の集積には、既存技術の下支えが不可欠であり、既存企業の様々な技術や分野のマッチングなどを推進し、SDGsに定める持続可能な経済成長を図る。

競争力がある産業づくり

ともに支え合う「こおりやま“産業”広域圏」による地域経済の振興

デジタルネイティブ、英語教育など新たな教育による次世代リーダーの登場

ワークライフバランスの取れた働きがいの醸成

キャスト

べき姿」と目標

Ⅲ. 経営基盤の強化

～「稼ぐ力」の向上～



1. 企業の生産性向上

企業の販路開拓や生産性向上、事業承継などの課題に対し、支援体制などを活用しながら持続的発展を図る。

2. 破壊的技術の活用による経営基盤の強化

AI・RPA・IoTなど破壊的技術の活用や合理化・省力化・省エネ経営などへ取組むことで生産性向上と高付加価値化の促進など、経営基盤の強化を図る。

3. 経営の効率化・労働資源の有効活用・健康経営の取り組み

女性・シニアなど新しい人材の発掘・育成など限られた労働資源の有効活用や健康経営に取組むことで、経営の効率化や労働生産性の向上を図る。

4. 「知の結節点」としての連携強化と知的財産の活用

本市及びこおりやま広域圏内の学術研究機関や高度な技術力を有する事業者などのネットワークを活用し、「知の結節点」として産業の集積と知的財産の活用による産業振興を図る。

5. 域内経済の循環と域外外貨獲得による地域産業の発展

主に商業・サービス業が支えている域内経済の循環と主に製造業による域外の外貨獲得から成る本市の商業と工業を一体的に考え、バランスのとれた地域産業の発展を目指す。

6. グローバル市場の活用、海外への展開

JETRO・JICAなどの関係機関等を活用し、グローバル市場を見据えた海外進出を図る。

7. SDGsに定める持続可能な経済成長の促進

地域資源の情報発信や活用促進により、本市のブランド力や魅力の向上を図るとともに、商工業を一体的にバランスの取れた持続的な発展を目指す。

Ⅳ. 次世代人材の育成

～イノベーションを担う人づくり革命～



1. 産学官連携による産業革命などに対応できる人材の育成

市内の研究機関などと高校生のロボット研究など、産業界と教育界のマッチングを図るとともに、義務教育年齢層から地域産業への愛着や理解を深める計画的・組織的なキャリア教育を推進する。

2. 新時代を切り拓く多様な起業家の育成

第4次産業革命が急速に進展している中、新たな産業と雇用を創出し、新時代を切り拓く多様な起業家の育成を推進する。

3. 次世代リーダー（経営人材）の育成

団塊の世代が後期高齢者となる2020年代を迎えるにあたり、地域産業の継続や技術の伝承など事業承継やM & Aの推進など経営革新にチャレンジする後継者（次世代リーダー）の育成を推進する。

4. 経済産業省が目指す「EdTech」（教育×技術）の推進

STEM（科学・技術・工学・数学）教育に重点を置いたICT・AIなどテクノロジーを活用した学習を推進する。

5. 東京一極集中への対策、UIJターンの推進

義務教育年齢層からキャリア教育で地域産業への愛着や理解を深めるとともに、移住者や市外の大学などへ進学した若者への情報整備を図り、本市優良企業の情報や魅力の発信を推進する。

6. 時代にマッチした働き方改革の実現

働く側のニーズが多様化している中、柔軟な働き方がしやすい環境の整備やワークライフバランスのとれた働き方の実現を目指すとともに、セーフコミュニティに基づく労働環境づくりを推進する。

4つの「目指すべき姿」の実現・推進に向けて

4つの「目指すべき姿」

I. 地域商業の振興

II. 新しい産業の創出

III. 経営基盤の強化

IV. 次世代人材の育成

実現・推進に向けて

I. 連携による産業振興

(各主体との連携)

1. 業種間連携

商業・工業などの分野ごとに捉われることなく、異業種間の連携を推進し、地域産業の活性化を目指す。

- ① 農業との連携
- ② 観光・文化スポーツ産業との連携
- ③ 福祉産業との連携



関係機関・団体との意見交換会

2. 各界各層との連携

支援機関・経済団体・金融機関・研究機関など各界各層との連携推進により地域産業の活性化を目指す。

- ① 経済支援団体(商工会議所、商工会など)との連携
- ② 経済団体(中小企業家同友会など)との連携
- ③ 金融機関との連携
- ④ 研究機関・高等教育機関等との連携
- ⑤ 土業との連携・きめ細かな情報の提供
- ⑥ 創業・支援業者との連携
- ⑦ その他の連携・推進体制



こおりやま産業博

3. 地域における連携

市内各地区、こおりやま広域圏内、姉妹・友好都市など各地域との連携推進により産業の活性化を目指す。

- ① 市内各地区間連携
- ② 広域連携(連携中枢都市圏「こおりやま広域圏」59万人)
- ③ 域外連携(首都圏、姉妹・友好都市、海外など)
- ④ 避難者・事業者等との連携

II. 地域の特性を生かした産業振興

(地域別構想)

1. 中心市街地

商都郡山の中心を担ってきた、主に郡山駅周辺エリアの特性を生かした産業の活性化を推進する。

- ① 本市玄関である郡山駅前の魅力向上
- ② 郡山駅の更なる活用



郡山中央スマートインターチェンジ

2. 近隣地域

多くの市民の居住地域で、主に中心市街地を除く市街化区域の特性を生かした産業の活性化を推進する。

- ① 既存商店街など地域の活性化
- ② JR各駅を活用した産業振興
- ③ 郡山富田駅周辺の産業振興

3. 周辺地域

各行政センターを中心とした地域で、主に本市農業を支えている特性を生かした産業の活性化を推進する。

- ① 人口減少への対策
- ② 農商工連携
- ③ 観光産業・地域伝統産業の活性化
- ④ 工業団地等への企業誘致等

4. インターチェンジ周辺地域

e-commerce時代の物流環境への対応など、高速交通の要衝であることを生かした産業の活性化を推進する。

- ① 交通アクセスを生かした拠点形成
- ② 新たな時代に対応できる物流環境の整備

重点施策の相関表「マトリクスイメージ」

“ふくしま”をけん引し競争力がある産業づくり

全事業者がAI・RPA・IoTなどICTをフル活用する新産業時代の到来

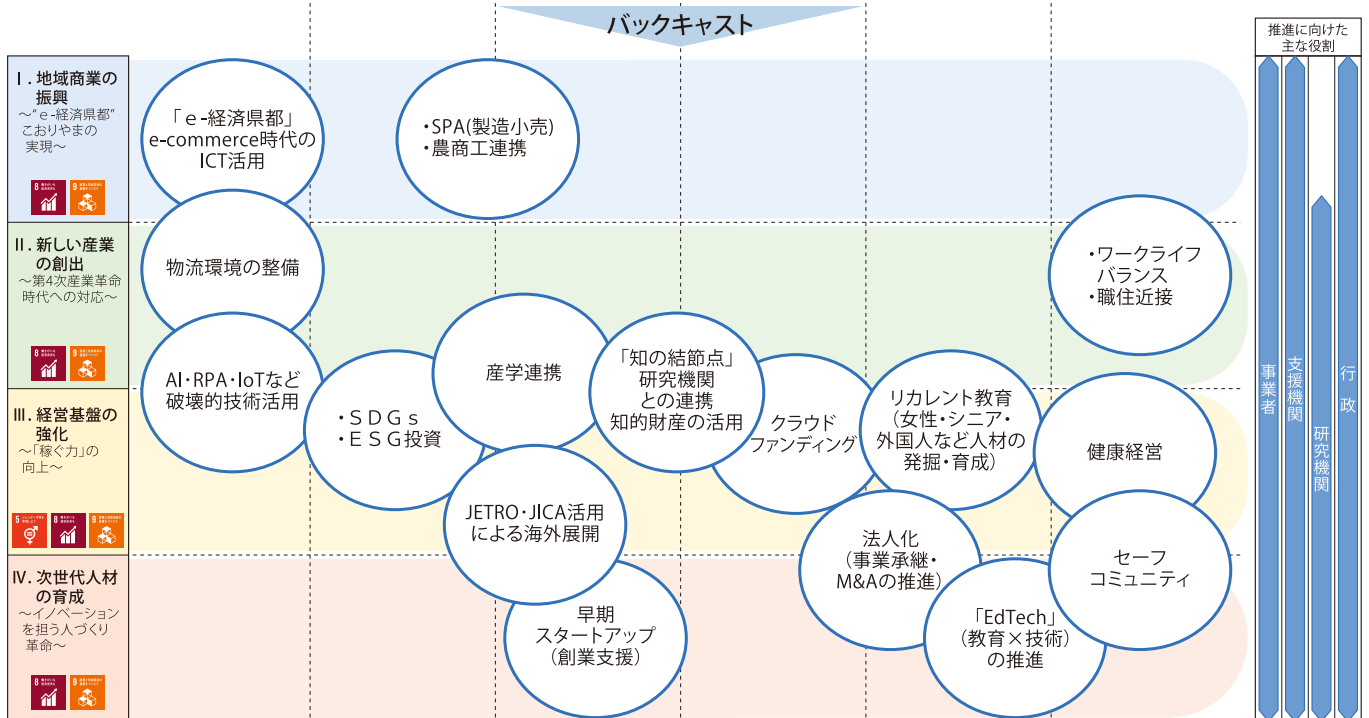
新たな産業ポータル社会に対応する環境の整備

学術・研究機関と連携した産業の集積

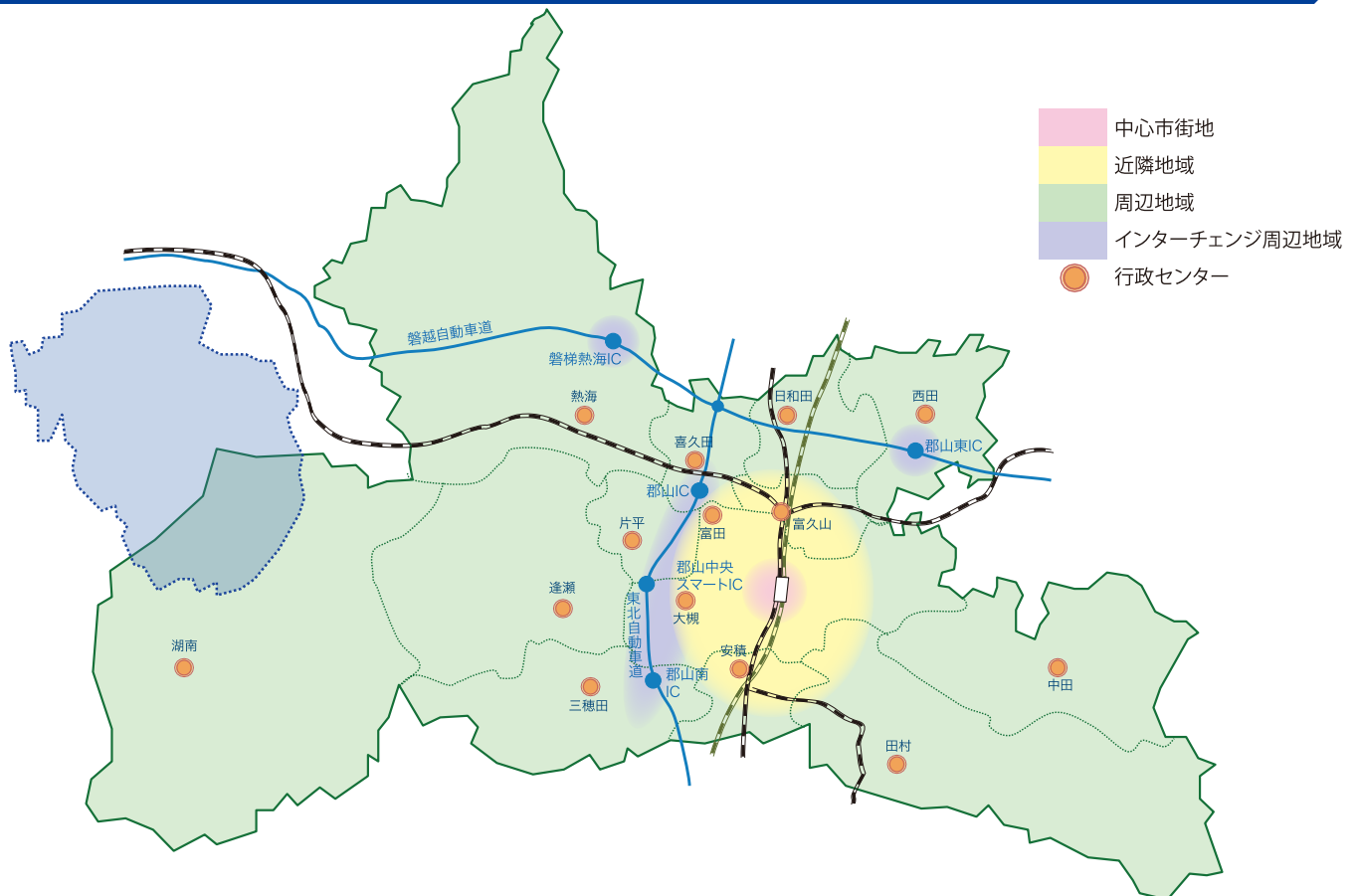
ともに支え合う「こおりやま”産業”広域圏”による地域経済の振興

デジタルネイティブ、英語教育など新たな教育による次世代リーダーの登場

ワークライフバランスの取れた働きがいの醸成



地域別構想イメージ図



ビジョンの実現・推進体制

◇ビジョンの推進に向けた役割

取り組み内容・施策	推進に向けた役割			
	事業者	支援機関	研究機関	行政
I. 地域商業の振興 ～“e-経済県都”こおりやまの実現～				
1. e-commerce時代のICT活用による販路開拓・経営力の向上	◎	○		○
2. 地域資源を活かした産業の振興	○	○		◎
3. 域内経済の循環による地域商業の維持	◎	○		○
4. 商品力の向上と国内外の販路拡大	◎	○		○
5. 時代の潮流に対応できる物流環境の整備・推進	◎	○		○
6. 産業振興による地域の活性化	○	◎		◎
II. 新しい産業の創出 ～第4次産業革命時代への対応～				
1. 破壊的技術を活用した生産性革命・新産業創出	◎	○	○	○
2. 新たな成長産業の育成・集積、核となる企業の誘致	○	○	○	◎
3. 産学官連携と技術革新による産業の高度化・高付加価値化	○	○	◎	◎
4. 最先端研究機関との連携推進による関連産業の育成	○	○	◎	◎
5. 新たな資金の確保	◎	○	○	○
6. SDGsに定める産業と技術革新の基盤づくり	○	○	◎	◎
III. 経営基盤の強化 ～「稼ぐ力」の向上～				
1. 企業の生産性向上	◎	◎	○	◎
2. 破壊的技術の活用による経営基盤の強化	◎	◎	○	○
3. 経営の効率化・労働資源の有効活用・健康経営の取り組み	○	◎	○	◎
4. 「知の結節点」としての連携強化と知的財産の活用	○	○	◎	◎
5. 域内経済の循環と域外外貨獲得による地域産業の発展	◎	○		◎
6. グローバル市場の活用、海外への展開	◎	◎		○
7. SDGsに定める持続可能な経済成長の促進	◎	○		◎
IV. 次世代人材の育成 ～イノベーションを担う人づくり革命～				
1. 産学官連携による産業革命などに対応できる人材の育成	○	○	◎	◎
2. 新時代を切り拓く多様な起業家の育成	○	◎	○	◎
3. 次世代リーダー（経営人材）の育成	◎	◎		◎
4. 経済産業省が目指す「EdTech」（教育×技術）の推進	○		○	◎
5. 東京一極集中への対策、UIターン推進	○	○		◎
6. 時代にマッチした働き方改革の実現	◎	○		◎

◇主な関係機関・団体一覧

団体名	住所	連絡先
郡山市中小企業及び小規模企業振興会議	郡山市朝日一丁目23番7号(郡山市産業政策課内)	024-924-2251
郡山市商店街連合会	郡山市清水台一丁目3番8号(郡山商工会議所内)	024-921-2621
市内各工業団地会	(会員企業による輪番制)	
福島県中小企業家同友会郡山地区	郡山市清水台一丁目3番8号 郡山商工会議所会館5階	024-934-3190
郡山商工会議所	郡山市清水台一丁目3番8号	024-921-2600
郡山地区商工会広域協議会	郡山市熱海町熱海一丁目1番地(熱海町商工会内)	024-984-2341
郡山まちづくり推進協議会	郡山市清水台一丁目3番8号(郡山商工会議所内)	024-921-2610
産業技術総合研究所福島再生可能エネルギー研究所	郡山市待池台二丁目2番9号	024-963-1805
ふくしま医療機器産業推進機構	郡山市富田町字満水田27番8	024-954-4011
郡山地域研究機関ネットワーク形成会議	郡山市朝日一丁目23番7号(郡山市政策開発課・産業創出課)	024-924-2021(政策開発課) 024-924-2271(産業創出課)
福島県よろず支援拠点	郡山市清水台一丁目3番8号(郡山商工会議所会館4階)	024-954-4161
福島県事業引継ぎ支援センター	郡山市清水台一丁目3番8号(郡山商工会議所会館4階)	024-954-4163

「知の結節点」こおりやま産業持続・発展ビジョン

2019(平成31)年3月

■編集・発行 郡山市産業観光部 産業政策課
TEL: 024-924-2251 FAX: 024-925-4225



この印刷物は、環境にやさしい植物油インキと、責任ある管理がされた森林からの材を含むFSC® 認証紙を使用しています。(紙ヘリサイクル可)